

新宮山彦ぐるーぷ第2185回

深仙宿避難小屋のソーラー発電修理

◇実施日 6月8日(水)

晴のち曇

◇参加者 梶野照雄

1名

深仙宿避難小屋のソーラー発電故障は6月1日にコードの断線が原因と分かったが、コードを用意していなかったため修理を持ち越した。梅雨入りすると行きにくくなるので晴が確実な日を選んで実施した。

午前8時、太尾登山口に着く。今日は駐車車両は6台だけで比較的すいている。荷物の重さを計ってみると11kgだった。



今日は車が少ない

裏を向いた標識

千丈平で休憩

不動木屋登山道分岐に着くと先日十津川村が取り付けた標識が反

対側に回っていた。板がプラスチックの薄い物なので、針金を締め付けることが出来ない。帰りに処置することにして先に進む。風が強かったのか、登山道には大小の枝が落ちていた。先行者は少なくとも5人いたはずだが、誰一人として枝を除ける者はいないようだ。



間違いやすい場所にマークを付ける

千丈平で休憩していると下の方から熊鈴の音が聞こえてきた。暫くしてバイケイソウの中を若者が登ってきた。先日と同じように間違った方向へ入ってしまったようだ。スマホのGPSで間違いに気付いたそうだ。伊富喜師の石碑手前の間違い個所に着く。荷物を降ろしてスプレー缶を出し、矢印や×印を付けた。誰が見てもわかるように、ちよつと多めに付けた。

深仙宿に着き、お堂から脚立とデポしていたバッテリーを出す。小屋の梁に上げてある垂木を降ろし、折れたアルミ梯子を修理する。4ヶ所をビス止めして4か所を番線で縛った。

立ててみると一人一人が登るのに十分な強度があるようだ。体を確保するロープをつける金具を最初に取り付ける。ロープを南側に投げ、ハシゴを移動してソーラーパネルの取り付け部を確認する。取付ナットはシーリング材が打たれており、レンチが入らない。シーリング材を取り除くのに時間が掛かり、パネルを外すのに30分かかった。



折れたハシゴを修理

外したソーラーパネル

再び取り付け

地上でパネルの配線接続部をみると、ハンダ付けの上から接着剤様の物で固めてあり、接続部に直接コンタクトが出来ない状態だった。やむなく残っているコードに持ってきたキャプタイヤコードを繋ぎ、ビニールテープで絶縁、その上から自己融着テープをまいて、最後にビニールテープでカバーした。

12時を過ぎていたので小屋内に入って昼食、屋外は日が当たっているが気温が低く、半袖ではじっとしてられない。

ソーラーパネルを屋根に戻し、配線の取り回しにコードクランプ

を使う。6mのケーブルを繋いだが、現状では4mで足りたようだ。以前のコントローラーを取り外し新しいコントローラーを取り付ける。バッテリーを繋ぐとLED照明と携帯電話の充電器が作動した。パネルの電圧を計ってみると19ボルトあるのでコントローラーに接続する。コントローラーの各電圧も正常なので修理は完了。以前増設した床台の上板が外れていたので付け直して当初の位置に配置した。



コントローラーを交換

増設床を戻す

作業終了

荷物を一ヶ所にまとめて香水水に向かう。雨の後なのでよく流れていた。手を洗って小屋に戻り千丈平に向かう。

千丈平には鹿が3頭、今日は登山者が少ないのでこの時間に誰かと会うことは無いだろう。

古田の森近くなつて千丈平に軍手を忘れてきたことに気付く。座った木が湿っていたので、座布団代わりに軍手を敷いたままにしてきた。



標識を補強



無事に下山

不動木屋登山道分岐で十津川村の標識を手直しする。後ろ側にネジを打って留めている針金を巻き付けて回転しないようにした。余ったネジで表側からも標識を固定した。

午後5時、登山口に着く。少し前から小さな雨粒が落ちてきた。発電所まで降りると、空は晴れていた。
(記；梶野)

行動タイム

太尾登山口 08:14 → 08:57 不動木屋登山道分岐 → 09:38 古田の森
→ 10:15 千丈平 → 10:59 深仙宿 14:23 → 15:05 千丈平 → 15:39
古田の森 → 16:17 不動木屋登山道分岐 → 17:00 太尾登山口